

【草花の部屋】

ヒルザキツキミソウ (アカバナ科マツヨイグサ属 *Oenothera speciosa*)

和名：ヒルザキツキミソウ（昼咲月見草） **別名**：エノテラ

英名：Pinkladies、Showy evening primrose

フトモモ目 多年草

原産地：北アメリカ

花言葉：新しい恋人、自由な心、清純、無言の愛、固く結ばれた愛、奥深い愛情



花色：白、薄桃

← 写真-1 ヒルザキツキミソウ

撮影日：2021年05月4日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：Mさん

▼ 写真-2 ヒルザキツキミソウの花

撮影日：2021年05月4日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：Mさん



← 写真-3 ヒルザキツキミソウの花弁と萼

撮影日：2021年05月4日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：Mさん

大和郡山市郊外の住宅地を散策中に見かけました。マツヨイグサ属のツキミソウ（月見草）の仲間で、昼間、開花するので、この名前になったそうです。草丈は30～60cmくらいで薄い桃色の花を付けていました。

大正末期ごろ観賞用に渡来し、現在では中部地方以西に野生化しているものもあるそうです。

花は茎先の総状花序につき、径4～5cmほどの白色または淡紅色の花を咲かせます。花卉の数は4枚、雄蕊は8本で、雌蕊の柱頭は十字状に裂けます。蕾のときは下を向いていますが、開くと上を向きます。花期は春から夏です。葉は、縁に波状の鋸歯があり披針形で、互生します。

増殖は実生、株分け、挿芽によります。移植を好まないなので、植える場所に直播きするか、ポットに播いて幼苗のうちに移植します。